

2015 アジア薬剤学会でポスター発表

2015年11月25日から27日にタイのバンコクで開催された「The Asian Federation for Pharmaceutical Sciences (AFPS) 2015」においてポスター発表を行いました。本学会には薬剤学研究に従事する多くの学生や研究者が参加しており、DDS や製剤学、薬物動態学などに関連する幅広い分野の発表がされていました。

私は薬剤性光線過敏症のリスク評価について研究しており、「光化学的特性評価ならびにカセットドージング薬物動態学試験による薬剤の光安全性評価」というタイトルで発表をしました。発表内容が経皮適用化合物（塗り薬）に関する発表であったため、私の発表をタイの化粧品会社の方々に熱心に聞いていただきました。光安全性評価が医薬品のみならず、世界中の様々な製品開発の現場で大きな注目を集めていることを肌で感じることができました。

海外での発表は、私にとって非常に貴重な経験となりました。特に、様々な国の参加者との英語でのディスカッションを通じ、英語でのコミュニケーション能力の重要性を痛感しました。サイエンスが優れているだけでは十分ではなく、自身の研究成果を世界に発信することができるレベルの発信力を磨こうと思いました。



薬食生命科学学府 薬科学専攻 薬物動態学教室
博士前期課程2年 大竹 啓斗